第7回勉強会課題 CNNによる画像認識

野田修平

2022年11月17日

1 はじめに

今回は,第7回勉強会の課題に取り組む.

2 ネットワーク構造の変更

変更点は以下の2点である.

- 活性化関数:ReLU を LeakyReLU に変更
- 中間層のユニット数:2024 → 1024 → 10 に変更

中間層のユニット数に関しては、4048 も試したが精度は向上しなかったため、これ以上増やしても過学習になると考える.

3 学習の設定の変更

変更点は以下の2点である.

- 学習回数:10回を20回に変更
- 学習率 $:0.01 \rightarrow 0.012$ 学習回数はある程度の精度が得られたため、20 回とした.

中間層のユニット数に関しては、4048も試したが精度は向上しなかったため、これ以上増やしても過学習になると考える.

4 認識精度

2と3のように変更した結果、最も高い結果は、0.7071となった.

MPRG Work Document 2

5 おわりに

今回は,第7回勉強会の課題に取り組んだ.